

指定管理者施設管理評価シート（H18）		部	保健福祉部	課	高齢福祉課											
施設名	今戸老人福祉館	指定管理者の名称	(福)台東区社会福祉事業団													
1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）																
<p>【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。</p> <p>【事業内容】児童部門...児童館（7）、こどもクラブ（13） 高齢者部門...特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区センター（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営</p> <p>【経営の状況】（17年度決算ベース） 〔社会福祉事業会計〕歳入 2,454,919,911円、歳出 2,310,246,072円、収支差額 144,673,839円 〔公益事業特別会計〕歳入 344,134,864円、歳出 296,549,026円、収支差額 47,585,838円</p>																
2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要・特徴、入所者数・対象者数等）																
<p>【所在地】台東区今戸2-36-7</p> <p>【開設】昭和49年4月8日（32年経過）</p> <p>【建物概要】延べ床面積 289㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階のうち4階部分 教養室、囲碁将棋室、茶室、談話室など</p> <p>【利用定員】なし</p> <p>【職員数】5名 （内訳）館長（センター所長と兼務・1）、施設管理員（2）、事務（短時間・1）、施設管理員（短時間・1）</p>																
3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴、事業の目標(利用者数等)、自主事業）																
<p>【事業の概要】教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ教養室等の開放、入浴サービス、防災訓練等</p> <p>【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。 利用者本位のサービス提供、地域福祉機能の充実、透明性、信頼性の確保、事業団らしさの発揮、自立的、効率的運営の推進の5つの基本方針を掲げている。</p> <p>【自主事業】ことばき教室...高齢者が充実した日々を過ごし、互いに交友を深めることを目的とした学習の場として教室を開催する。</p>																
4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）																
17年度施設利用実績（年間）（人）				17年度各種行事（年間）												
	男	女	計	月平均												
個人利用	18,450	13,392	31,850	2,654	映画会	落語大会	浪曲大会	移動寄席	歌謡ショー	交流茶会	スポーツ大会					
団体利用	1,806		1,806	150	開催数	10	0	0	1	0	0	0				
入浴利用	21,100		21,100	1,758	参加延人員	285	0	0	96	0	0	0				
17年度ことばき教室実績（年間）																
	カラオケ	茶道	生花	民謡	民踊	大正琴	水墨画	ダンス	囲碁	書道	気功	似顔絵	てん刻	ワガッス	ヨガ	絵手紙
開催数	20	0	10	20	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0
参加延人員	532	0	193	478	237	0	0	0	0	0	0	0	0	85	126	0
5. 予算決算の推移（単位：円）																
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度										
予 算	委託料	35,063,000	35,882,000													
	料金収入等	0	0													
	管理経費	35,063,000	35,882,000													
決 算	委託料	33,230,905														
	料金収入等	0														
	管理経費	33,230,905														
	収 支	0														

6. 評価項目		
施設によるサービス提供		
(1)利用時間等の遵守[3]、(2)施設提供のための適正な人員配置[3]、(3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認、案内等の対応と接遇[3]、(6)苦情等への対応と報告[3]、(7)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]、(8)利用実績[3]		
【標準 8 項目、本施設は 8 項目を評価】		
事業		
(1)施設の目的に沿ってサービスを提供できているか[3]、(2)事業実施のための適正な人員配置[3]、(3)情報提供・接遇[3]、(4)利用者数等の目標達成[3]、(5)自主事業はサービス向上に役立ったか[4]、(6)自主事業の利用実績[4]、(7)苦情等への対応と報告[3]、(8)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]		
【標準 8 項目、本施設は 8 項目を評価】		
施設の管理		
(1)建物保守管理・設備機器安全確認[3]、(2)個人情報保護[3]、(3)備品の管理[3]、(4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3]、(7)業務の外部委託[3]、(8)震災等への対応[3]、(9)関係団体・地域との連絡調整[3]、(10)管理記録[3]		
【標準 10 項目、本施設は 10 項目を評価】		
歳入歳出		
(1)管理経費等の縮減、縮減努力[3]、(2)事業経費見直しによる収支改善努力[3]、(3)利用者増等による収支改善努力[]		
【標準 3 項目、本施設は 2 項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良):協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。		
「A」(妥当):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。		
「A-」(課題あり):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成しているが、一部に課題がある。		
「B」(要改善):一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
施設によるサービス提供	A	苦情対応も適切になされている。
事業(区の事業、自主事業)	A	個人利用者及び行事参加者が3館中一番多く、高齢者の活動の場として、活発な取組みがなされている。
施設の管理(補修、緊急対応等)	A	修繕の原因が、日々行き届かなかった清掃によるものもあるため、日常清掃や点検を徹底されたい。
歳入歳出	A	概ね良好である。
総合評価	A	利用者に対する事業においては、適切に運営がなされている。
8. 課題への対応		
<p>開設から30年以上経過し、施設全体が老朽化しているとはいえ、日々の清掃や点検を徹底し、維持管理していく。</p> <p>また、利用者との対話や施設利用にあたってのルールづくりなど苦情が出ないような体制づくりを整備し、誰もが気持ちよく利用できる環境を構築していく。</p>		

指定管理者施設管理評価シート（H18）		部	保健福祉部	課	高齢福祉課											
施設名	三筋老人福祉館	指定管理者の名称	(福)台東区社会福祉事業団													
1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）																
<p>【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。</p> <p>【事業内容】児童部門...児童館（7）、こどもクラブ（13） 高齢者部門...特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区センター（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営</p> <p>【経営の状況】（17年度決算ベース） 〔社会福祉事業会計〕歳入 2,454,919,911円、歳出 2,310,246,072円、収支差額 144,673,839円 〔公益事業特別会計〕歳入 344,134,864円、歳出 296,549,026円、収支差額 47,585,838円</p>																
2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要・特徴、入所者数・対象者数等）																
<p>【所在地】台東区三筋2-16-4</p> <p>【開設】昭和50年12月1日（31年経過）</p> <p>【建物概要】延べ床面積 638㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階のうち1・2階の一部、3・4・5階部分 茶室、浴室、教養室、囲碁将棋室、娯楽室など</p> <p>【利用定員】</p> <p>【職員数】4名 （内訳）館長（センター所長と兼務・1）、施設管理員（2）、施設管理員（短時間・1）</p>																
3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴、事業の目標（利用者数等）、自主事業）																
<p>【事業の概要】教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ教養室等の開放、入浴サービス、防災訓練等</p> <p>【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。 利用者本位のサービス提供、地域福祉機能の充実、透明性、信頼性の確保、事業団らしさの発揮、自立的、効率的運営の推進の5つの基本方針を掲げている。</p> <p>【自主事業】ことぶき教室...高齢者が充実した日々を過ごし、互いに交友を深めることを目的とした学習の場として教室を開催する。</p>																
4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）																
17年度施設利用実績（年間）（人）				17年度各種行事（年間）												
	男	女	計	月平均		映画会	落語大会	浪曲大会	移動寄席	歌謡ショー	交流茶会	スポーツ大会				
個人利用	8,295	13,068	21,363	1,780	開催数	0	0	0	1	0	0	0				
団体利用	5,683		5,683	472	参加延人員	0	0	0	77	0	0	0				
入浴利用	13,204		13,204	1,100												
17年度ことぶき教室実績（年間）																
	カラオケ	茶道	生花	民謡	民踊	大正琴	水墨画	ダンス	囲碁	書道	気功	似顔絵	てん刻	ワガッス	ヨガ	絵手紙
開催数	20	0	0	0	20	0	0	0	18	0	0	0	0	20	0	20
参加延人員	561	0	0	0	310	0	0	0	271	0	0	0	0	348	0	308
5. 予算決算の推移						（単位：円）										
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度										
予 算	委託料	28,176,000	20,350,000													
	料金収入等	0	0													
	管理経費	28,176,000	20,350,000													
決 算	委託料	19,364,610														
	料金収入等	0														
	管理経費	19,364,610														
	収 支	0														

6. 評価項目		
施設によるサービス提供		
(1)利用時間等の遵守[3]、(2)施設提供のための適正な人員配置[3]、(3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認、案内等の対応と接遇[3]、(6)苦情等への対応と報告[3]、(7)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]、(8)利用実績[4]		
【標準8項目、本施設は8項目を評価】		
事業		
(1)施設の目的に沿ってサービスを提供できているか[3]、(2)事業実施のための適正な人員配置[3]、(3)情報提供・接遇[3]、(4)利用者数等の目標達成[4]、(5)自主事業はサービス向上に役立ったか[4]、(6)自主事業の利用実績[4]、(7)苦情等への対応と報告[3]、(8)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]		
【標準8項目、本施設は8項目を評価】		
施設の管理		
(1)建物保守管理・設備機器安全確認[3]、(2)個人情報保護[3]、(3)備品の管理[3]、(4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3]、(7)業務の外部委託[3]、(8)震災等への対応[3]、(9)関係団体・地域との連絡調整[3]、(10)管理記録[3]		
【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
歳入歳出		
(1)管理経費等の縮減、縮減努力[3]、(2)事業経費見直しによる収支改善努力[3]、(3)利用者増等による収支改善努力[-]		
【標準3項目、本施設は2項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良):協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。		
「A」(妥当):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。		
「A-」(課題あり):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成しているが、一部に課題がある。		
「B」(要改善):一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
施設によるサービス提供	A	各項目とも良好なサービス提供が行われている。
事業(区の事業、自主事業)	A	施設利用者及びことぶき教室の参加者が増加しており、延べ利用者数は、前年度比20.3%の増となっている。高齢者の活動の場として、活発な取組みがなされている。
施設の管理(補修、緊急対応等)	A	緊急な工事・修繕がなかったことから、日常の点検や清掃等が適切になされている。
歳入歳出	A	年々委託料が縮小しており、管理経費の縮減がなされている。
総合評価	A	事業及び施設管理において良好な管理運営がなされている。
8. 課題への対応		
開設から30年近く経過している中で、良好なサービス提供と施設管理がなされており、今後も高齢者の交流と活動の場としてより一層の取組みを図っていく。		

指定管理者施設管理評価シート（H18）		部	保健福祉部	課	高齢福祉課								
施設名	特別養護老人ホーム浅草	指定管理者の名称	(福)台東区社会福祉事業団										
1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）													
<p>【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。</p> <p>【事業内容】児童部門...児童館（7）、こどもクラブ（13） 高齢者部門...特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区ケアホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営</p> <p>【経営の状況】（17年度決算ベース） 【社会福祉事業会計】歳入 2,454,919,911 円、歳出 2,310,246,072 円、収支差額 144,673,839 円 【公益事業特別会計】歳入 344,134,864 円、歳出 296,549,026 円、収支差額 47,585,838 円</p>													
2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要・特徴、入所者数・対象者数等）													
<p>【所在地】台東区浅草4-26-2</p> <p>【開設】昭和62年4月1日（19年経過）</p> <p>【建物概要】延べ床面積 4588㎡ 鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 駐車場、倉庫、ホール、居室、食堂、浴室（機械浴、一般）、教養室、医務室など</p> <p>【入所定員】80名 【職員数】65名 （内訳）施設長(1)、医師(嘱託6)、生活相談員(2)、介護支援専門員(4)、栄養士(1)、機能訓練指導員(嘱託5)、事務職員(2)、ケアワーカー(常勤23、短12)、看護師(常勤4、短2)、その他(アルバイト3)</p>													
3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴、事業の目標(利用者数等)、自主事業）													
<p>【事業の概要】入居者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄援助、入浴援助)、季節行事等)地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等</p> <p>【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。利用者本位のサービス提供、地域福祉機能の充実、透明性、信頼性の確保、事業団らしさの発揮、自立的、効率的運営の推進の5つの基本方針を掲げている。</p> <p>【事業の目標】平成18年度稼働率として、特養95%・短期入所105%を目標値とする。</p> <p>【自主事業】自主事業は行っていない。</p>													
4. 施設の稼働状況（利用実績(利用者数等)、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）													
<p>【稼働率目標】ベッドの稼働率目標を、特養95%、短期入所105%に設定。17年度の実績は短期入所127.8%。</p> <p>【施設管理】昭和62年4月1日開設（開設後19年経過）のため、経年に応じた計画的な修繕が必要。</p>													
特養													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要介護1	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	55
要介護2	7	7	7	7	7	7	7	8	8	7	5	4	81
要介護3	15	15	15	16	16	17	15	15	14	14	14	14	180
要介護4	25	26	25	26	27	25	27	27	27	28	28	28	319
要介護5	28	26	24	24	24	23	22	22	23	23	26	27	292
計	80	79	76	78	79	77	76	76	76	76	77	77	927
短期入所													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
実利用人数	24	21	23	24	27	21	24	19	24	25	26	25	283
延べ利用日数	141	135	151	149	166	163	159	136	161	172	157	176	1,866
利用率	117.5	108.8	125.8	120.1	133.8	135.8	128.2	113.3	129.8	138.7	140.1	141.9	127.8
5. 予算決算の推移 （単位：円）													
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度							
予 算	貸金補助対価	86,264,000	82,071,000										
	料金収入等	328,662,000	324,148,000										
	管理経費	414,926,000	406,219,000										
決 算	貸金補助対価	88,486,215											
	料金収入等	323,526,575											
	管理経費	372,686,980											
	収 支	39,325,810											

6. 評価項目		
施設によるサービス提供		
(1)利用時間等の遵守[3]、(2)施設提供のための適正な人員配置[3]、(3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認、案内等の対応と接遇[3]、(6)苦情等への対応と報告[3]、(7)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]、(8)利用実績[3] 【標準8項目、本施設は8目を評価】		
事業		
(1)施設の目的に沿ってサービスを提供できているか[3]、(2)事業実施のための適正な人員配置[3]、(3)情報提供・接遇[3]、(4)利用者数等の目標達成[3]、(5)自主事業はサービス向上に役立ったか[-]、(6)自主事業の利用実績[-]、(7)苦情等への対応と報告[3]、(8)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準8項目、本施設は6項目を評価】		
施設の管理		
(1)建物保守管理・設備機器安全確認[3]、(2)個人情報保護[3]、(3)備品の管理[3]、(4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3]、(7)業務の外部委託[3]、(8)震災等への対応[4]、(9)関係団体・地域との連絡調整[4]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設10項目を評価】		
歳入歳出		
(1)管理経費等の縮減、縮減努力[4]、(2)事業経費見直しによる収支改善努力[3]、(3)利用者増等による収支改善努力[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良):協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。		
「A」(妥当):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。		
「A-」(課題あり):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成しているが、一部に課題がある。		
「B」(要改善):一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
施設によるサービス提供	A	良好なサービスの提供がなされている。
事業(区の事業、自主事業)	A	おおむね良好である。17年度に第三者評価にて職員の研修履歴の有無が指摘事項として挙げられていたが、18年度には改善されることとなった。また、各人の健康状態に合わせ、捕食の工夫や治療食等の対応を行ったり、嚥下障害のある方には多職種共同による対応をするなど、入居者の状態や嗜好に即したサービスの提供がなされている。
施設の管理(補修、緊急対応等)	A	施設側で対応できる範囲においては良好な管理が行われている。施設が老朽化しているため、経年に応じた修繕などが必要となっている。国内外における地震発生状況を鑑みると、震災時の職員対応を強化するため、17年度に行った震災訓練についても引き続き実施されたい。
歳入歳出	A	補助金、管理経費共に縮減されており、主に水道光熱費、業務委託費の削減ができています。
総合評価	A	職員の質の向上に関する項目を除けば、概ね良好である。
8. 課題への対応		
施設が老朽化しているため、経年に応じて修繕などを実施する。開設当初に購入した備品については、修理が不可能なものが増えてきているため、順次購入していく。また、職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画の策定及びその計画を踏まえたOJTや研修を充実させ、職員の質をより向上させていく。短期入所稼働率については目標値を大幅に上回っているため、引き続いて良好なサービスを提供していく。		

指定管理者施設管理評価シート (H18)		部	保健福祉部	課	高齢福祉課								
施設名	特別養護老人ホーム谷中	指定管理者の名称	(福)台東区社会福祉事業団										
1. 指定管理者の概要 (業務内容、指定管理者施設、経営の状況)													
<p>【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986(昭和61)年10月に設立した社会福祉法人である。</p> <p>【事業内容】児童部門...児童館(7)、こどもクラブ(13) 高齢者部門...特別養護老人ホーム(3)、高齢者在宅サービスセンター(4)、地区センター(2)、ホームヘルプステーション(1)、在宅介護支援センター(3)、老人保健施設(1)、老人福祉センター(1)、老人福祉館(3) の運営</p> <p>【経営の状況】(17年度決算ベース) 【社会福祉事業会計】歳入 2,454,919,911円、歳出 2,310,246,072円、収支差額 144,673,839円 【公益事業特別会計】歳入 344,134,864円、歳出 296,549,026円、収支差額 47,585,838円</p>													
2. 施設の概要 (施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要・特徴、入所者数・対象者数等)													
<p>【所在地】台東区谷中2-17-20 【開設】平成元年4月1日(17年経過)</p> <p>【建物概要】延べ床面積 2794㎡ 鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階 倉庫、居室、食堂、浴室(機械浴、一般)、静養室、ホールシア室、談話室など</p> <p>【入所定員】50名 【職員数】43名 (内訳)施設長(1)、医師(嘱託7)、生活相談員(1)、介護支援専門員(3)、栄養士(1)、機能訓練指導員(嘱託2)、事務職員(2)、ケアカー(常勤16、短3)、看護師(4)、その他アルバイト3)</p>													
3. 事業の概要、自主事業 (事業によるサービス提供の概要・特徴、事業の目標(利用者数等)、自主事業)													
<p>【事業の概要】入居者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄援助、入浴援助)、季節行事等)地域・ホールシア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等</p> <p>【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。利用者本位のサービス提供、地域福祉機能の充実、透明性、信頼性の確保、事業団らしさの発揮、自立的、効率的運営の推進の5つの基本方針を掲げている。</p> <p>【事業の目標】平成18年度稼働率として、特養95%・短期入所100%を目標値とする。</p> <p>【自主事業】自主事業は行っていない。</p>													
4. 施設の稼働状況 (利用実績(利用者数等)、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等)													
<p>【稼働率目標】ベッドの稼働率目標を、特養95%、短期入所100%に設定。17年度の実績は短期入所90.2%。</p> <p>【施設管理】平成元年4月1日開設(開設後17年経過)のため、経年に応じた計画的な修繕が必要。</p>													
特養													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	5	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	4	46
要介護3	8	7	7	7	7	6	7	7	8	10	10	10	94
要介護4	20	20	21	21	21	22	23	23	23	24	24	23	265
要介護5	17	18	16	17	17	16	16	15	14	13	13	12	184
計	50	49	48	49	49	48	50	49	48	50	50	49	589
短期入所													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
実利用人数	27	28	26	27	30	5	21	25	27	28	26	26	296
延べ利用日数	188	200	176	186	189	16	149	151	158	167	166	229	1,975
利用率	104.0	107.0	97.0	100.0	101.0	8.0	82.7	83.8	84.9	89.8	98.8	123.1	90.2
5. 予算決算の推移 (単位:円)													
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度								
予 算	貸金補助対価	67,457,000	61,309,000										
	料金収入等	228,383,000	224,867,000										
	管理経費	295,840,000	286,176,000										
決 算	貸金補助対価	56,072,941											
	料金収入等	227,618,292											
	管理経費	276,507,439											
	収 支	7,183,794											

6. 評価項目		
施設によるサービス提供		
(1)利用時間等の遵守[3]、(2)施設提供のための適正な人員配置[3]、(3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認、案内等の対応と接遇[3]、(6)苦情等への対応と報告[3]、(7)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]、(8)利用実績[3]		
【標準 8 項目、本施設は 8 項目を評価】		
事業		
(1)施設の目的に沿ってサービスを提供できているか[3]、(2)事業実施のための適正な人員配置[3]、(3)情報提供・接遇[3]、(4)利用者数等の目標達成[3]、(5)自主事業はサービス向上に役立ったか[-]、(6)自主事業の利用実績[-]、(7)苦情等への対応と報告[3]、(8)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3]		
【標準 8 項目、本施設 6 項目を評価】		
施設の管理		
(1)建物保守管理・設備機器安全確認[3]、(2)個人情報保護[3]、(3)備品の管理[3]、(4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3]、(7)業務の外部委託[3]、(8)震災等への対応[3]、(9)関係団体・地域との連絡調整[4]、(10)管理記録[3]		
【標準 10 項目、本施設 10 項目を評価】		
歳入歳出		
(1)管理経費等の縮減、縮減努力[4]、(2)事業経費見直しによる収支改善努力[3]、(3)利用者増等による収支改善努力[3]		
【標準 3 項目、本施設は 3 項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良):協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。		
「A」(妥当):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。		
「A-」(課題あり):協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成しているが、一部に課題がある。		
「B」(要改善):一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
施設によるサービス提供	A	良好なサービスの提供がなされている。
事業(区の事業、自主事業)	A	各人の健康状態に合わせ、捕食の工夫や治療食等の対応を行ったり、嚥下障害のある方にはソフト食を提供するなど、入居者の状態や嗜好に即したサービスの提供がなされている。
施設の管理(補修、緊急対応等)	A	施設が老朽化しているため、経年に応じた修繕などを計画的に進めていく必要がある。震災時の職員の対応力を高めていくことから、17年度に行った震災訓練についても引き続き実施されたい。最近1年間で疥癬が発生しているため、感染症の予防についても課題となる。また、区立高齢者施設において、最初に東京都食品衛生自主管理認証制度を取得した点は評価できる。
歳入歳出	A	補助金、管理経費共に縮減されており、主に業務委託費の削減ができています。
総合評価	A	衛生管理に関する項目を除けば、概ね良好である。
8. 課題への対応		
施設が老朽化しているため、経年に応じて修繕などを実施する。開設当初に購入した備品については、修理が不可能なものが増えてきているため、順次計画的に購入していく。最近1年間で疥癬が発生しているため、再発しないようより一層防止、対策に努める。また、職員に対しても同様に、一層の衛生面での啓発を行う。		